

タイトル

Usapi: ピアニストの個性を反映する演奏表情付けモデル

Usapi: expressive music performance model that reflects pianist's own characteristics

概要

Usapiは、与えられた楽譜を表情豊かに演奏するための数理モデルです。機械的に楽譜を演奏しても、味気ない演奏となってしまいますが、ピアニストが演奏すると同じ楽譜でも表情付けされ、それぞれのピアニストごとの個性的な奏法が反映されたダイナミックで表現豊かな演奏となります。Usapiは、統計モデルのひとつであるガウシアンプロセスを用いることで、煩雑なパラメータ設定をすることなくこのようなピアニストの個性的な演奏の特徴を学習し、入力楽譜に対して表情豊かな演奏を生成します。



URL

<http://hawaii.sys.i.kyoto-u.ac.jp/~keiko-te/usapi.html>

産業界への展開例・適用分野

音楽制作・編集ソフトウェアへの展開や音楽ゲームコンテンツへの適用が考えられる。特に、従来モデルでは音楽の装飾記号の付与など音楽学的な知識や手間のかかる作業が必要であったが、このモデルを適用することで作曲・入力した楽譜に対して演奏技術や知識がなくても自動的に美しい演奏を作ることができるようになる。また生成した楽曲は実演権が発生しないことから映画や演劇・ラジオ番組制作などで利用される音素材の作成に寄与できる

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職 (学年)
展示担当者	寺村佳子	システム科学	論理生命学分野	博士1年
	前田新一	システム科学	論理生命学分野	助教